平成30年度

松本南幼稚園　「自己評価および学校（園）関係者評価」

１．園の教育目標

どの子も生き生きと活動する楽しい幼稚園

２．本年度の重点目標

（１）あいさつをしよう。
（２）仲よく元気に遊ぼう。
（３）自分の思いを伝えよう。

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている
C…取り組んでいるが，成果が十分でない　　D…取り組みが不十分である

項　　目	自　己　評　価　内　容	
教育課程・指導	園は，目指している教育目標・本年度の重点目標を周知している。	B
	教育課程実施において，教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	日常の健康観察や，疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	事故やけが等，発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	園長は，教育目標の達成に向けﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟを発揮し，職員をﾘｰﾄﾞしている。	A
	園運営が適切に機能するために，運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取り組み）	法人実施の研修会への参加と，園内研修会の実施をしている。	A
	日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	幼児の実態，保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	保護者アンケートの実施と学校関係者委員会（ﾓﾆﾀｰ会）を設置している。	A
	本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	園公開を実施し，園の取り組みを広く情報提供している。	A
	園の情報を広く公開するために，ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	ＰＴＡや学校関係者委員会(ﾓﾆﾀｰ会)等で，定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	地域における保護者の実情や，子育て支援ニーズを把握している。	B
	保護者の実情や要望を取り入れ，預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

４　学校関係者評価委員会（モニター）からの評価

（１）自己評価は，目標設定に対しての評価になっているので，いつもB評価であるというところは十分検討していってほしい（反省を生かした改善の方向を大切に）。
（２）けがや病気等，危機管理についてのご質問をいただいた。園では，マニュアルを作成しそれに基づいて実施していることや，けが等についての事案があった場合は，連絡会などで事実の報告をしており，話題を全員で共有し次に生かしていることなどをお話しした。
（３）モニターとして出席している保健師さんから，保健に関しての助言をいただいた。「けがや病気に関しての判断は，難しい面があるので，その状況についてはたくさんの人の目で見ることが大切である」「保護者の方は不安があるので，情報の共有化を図っていきたい」「服薬の量や種類については，お医者さんの判断を仰いでほしい」「インフルエンザの新薬については，医師・薬剤師と相談してほしい」
（４）子育て支援や地域との連携については，園公開などのチラシを地域の町会などで配布したが，そのことによる効果は，十分把握できない面がある。また，幼児や児童の数が減っている地区（少子高齢化傾向）と増えている地区がある。状況を十分把握していきたい。
（５）小学校との交流を毎年続けている。幼小の連携を深めるためにも引き続き行っていきたい。小学校指導要領が2020年度から実施される。その面も含め，幼小の接続をしっかりしていきたい。

５　今年度の総合的な園評価と次年度への課題

（１）一人一人の子どもたちの様子を的確にとらえ，保護者の方と情報の共有化を図ることは，一致した指導につながり，子どもたちの持っている力を一層伸ばすことにもつながり，重要に考えていきたい。
（２）主任が「特別支援教育コーディネーター」になっている。幼小の連携はもちろんであるが，子どもたちの状況に応じての助言などについても積極的に行っていきたい。また，心配事があればどのような話題でも相談していただき，一人一人の成長に関わっていきたい。
（３）園としての改善の方向で，日常的に何をしたかが問われている。結果的に，その実践が子どもたちの成長につながっている。この点について，今後の活動の中で実践化を図っていきたい。
（４）園の運営に関して，前向きな様々な意見をいただいた。上記に関わり実践していくことが大事であり，
今後も子どもたちが「安心して楽しく園に通う」姿を重要に考えていきたい。